

## 再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：木村 昌司

<b>事業名</b> 一般国道260号南島バイパス	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 三重県
<b>起終点</b> 自：三重県度会郡南伊勢町道方 至：三重県度会郡南伊勢町東宮	<b>延長</b> 3.5 km	
<b>事業概要</b> 一般国道260号は、三重県志摩市阿児町を起点として三重県北牟婁郡紀北町に至る延長約11.9 kmの幹線道路です。南島バイパスは、現国道260号の幅員狭小の未改良区間の解消し、安全で円滑な交通確保及び市町村合併支援を目的とした、延長3.5 km、2車線道路の計画です。		
H4年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H6年度用地着手
全体事業費 55億円		事業進捗率 45%
計画交通量 4,000台/日		供用済延長 0 km
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b> (事業全体) 1.8 (残事業) 4.3	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 25 / 58億円 事業費：24 / 57億円 維持管理費：1 / 1億円
	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 107 / 107億円 走行時間短縮便益：103 / 103億円 走行費用減少便益：4 / 4億円 交通事故減少便益：0 / 0億円	<b>基準年</b> 平成18年
<b>事業の効果等</b> ・国土・地域ネットワークの構築…現道等における大型車すれ違い困難箇所を解消する ・安全で安心できるくらしの確保…三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる 他8項目に該当		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 国道260号道路改良促進期成同盟会が結成されており、当該事業の早期完成を強く要望されています。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 平成17年10月1日、度会郡南勢町と同郡南島町が合併し、南伊勢町が発足しました。当バイパスは、行政機能を分担する旧各町役場を結ぶ唯一の幹線道路であることから、合併支援道路として重要性が高くなっています。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> これまでに45%の進捗が図られており、平成19年度よりトンネル工事に着手する予定です。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 工区内に多数共有地が存在し、相続人が現在900名を超えており、関係者整理に多大な時間を要しています。今後は共有地関係者に対して法的手続きを実施し早期供用を目指しています。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 特にありません。		
<b>対応方針</b>	事業継続	
<b>対応方針決定の理由</b>	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
<b>事業概要図</b>		